

「キヤッツ・テイル」

◇登場キャラクター

怪盗「キヤッツ・テイル」	3人程度
キヤッツ・テイル お助けメンバー	5人程度
キヤッツ・テイル 下働きポチ	1人（増やしても良い）
キヤッツ・テイルを追う警察	警部1人・警官5人程度
お宝の警備員	10人程度
お宝の持ち主 お嬢様3姉妹	3人程度

◇配役について

「怪盗1」「警部」のみ、しゃべる台詞を明示しています。
「怪盗」「お助け」「警官」「警備員」お嬢様」と書かれているところは、
チームのだれがしゃべっても大丈夫です。

☆真夜中・チツチ・ビルディングの入り口

警報が鳴る中、警備員たちが走り回っている。

警備員 ○○警部！（警部の名前）

警部 どうした！

警備員 3階の窓から何者かが侵入しました！

警官 まさか、怪盗キヤッツ・テイル！？

警部 行くぞ！

一方、ビルの中では、一人で忍び込んだ怪盗1の姿がある。警備員たちが多すぎて、進むことができずにいる。

そこに、怪盗の仲間とお助けメンバーたちがやってくる。

怪盗たち ○○！（怪盗1の名前）

怪盗1 みんな！

お助け こっちよ！

お助け 早く！

怪盗1は、みんなと共に逃げていく。

そこに駆けつけてくる、警部と警官たち。

警部 いたぞ、追え！

警部たちは後を追っていく。

☆翌日・喫茶店「キヤッツ・テイル」の店の中

怪盗1が、みんなに怒られている。

怪盗 もう、なんで一人で行ったの？

怪盗 危ないってわかってたでしょ？

怪盗1 出発前に、どうしてもあれだけは盗んでおきたくって。

怪盗 それはわかるけど…。

ポチ 一人はいけませんよ、一人は！ ○○（怪盗1の名前）に何かあったら、私は…！

ポチ、泣く。

怪盗たち ポチ、うるさい。

ポチ えー！

お助け
お助け
でも、ポチの言う通りだよ。
私たちは仲間なんだから。
怪盗1 …うん、ありがとう。

そこに、警部と警官たちが店に入ってくる。

ポチ
いらっしやいませ！

お助け
なーんだ、〇〇（警部の名前）たちか。

警官
なーんだ、ってなんだよ。

お助け
昨日もキャッツ・テイルを逃しちゃったんでしょ？

ガーン…。

警部たち、落ち込む。

警官
うるさーい！

警官
キャッツ・テイルだって、失敗したんだからいいだろ！

ガーン…。

怪盗たち、落ち込む。

ポチ
みなさん、しっかりしてください！

警官
でも、もう大丈夫なんだ。

怪盗
なんで？

警官
明日の朝には、お宝は外国に行っちゃうから。

怪盗
外国？

怪盗
明日？

警官
持ち主の〇〇（お嬢様の名前）お嬢様たちが、盗まれないように外国に持って行くんだってさ。

警官
つまり、今夜一晩守り抜けば、もう安心。

警官
そして、それまでは、いつもの3倍の警備員が守り抜きます。

警官
集合！

警備員たち、駆け込んできて整列する。

警備員たち
お宝は、私たちが守ります！

警官たち
（拍手）

怪盗・お助けたち
えー…。

5時を知らせるチャイムが鳴る。

警備員 警部、5時です。
警部 大変だ、もう行かなきゃ。
警官 それじゃ、みんな、また明日！

警官たちと警備員たちは、お店を出て行く。

怪盗1 ○○（警部の名前）。
警部 なに。

明日の朝、お店に寄ってくれる？

そっか、引越し、明日だっけ。

怪盗1 その前に、○○（警部の名前）にプレゼントがあるの。

わかった。絶対くるよ。

怪盗1 約束だよ。

うん。だからさ、キャッツ・テイルを捕まえられるように祈っててよ。

…うん。

警部 じゃあね。

警部、お店を出ていく。

怪盗 今日夜の夜が最後のチャンスってことね。

怪盗 これが、キャッツ・テイルの最後の仕事よ。

怪盗 それじゃあ、さっそく準備開始！

みんな おー！

みんな、駆け出していく。

☆その日の夜・最上階のなんだかエラそうな部屋

警部たちと警備員たちが入ってきて、お辞儀する。

そこに、オーナーの○○お嬢様たちがやってくる。

お嬢様 あたくしたちがこのビルのオーナー、○○お嬢様ですわ。

お嬢様 見ての通りの大金持ち。

お嬢様 あたくしたちにひれ伏さないものは、この世にないわ。

お嬢様 それで、警備の方は万全なんでしょうね。

警官 警備隊、前へ！

警備員たち、前に出てくる。

警部 それでは、説明させていただきます。

警備員　まずはヤツらの侵入をいち早く察知する、赤外線センサー！

警備員たち、なわとびで仕掛けを作る。

(このシーン、好きな遊びで、好きなワナを考えてみてください)

警備員　そう簡単には通り抜けられません。名づけて、

みんな　「いろはにこんぺいとう」作戦！

警備員　次に侵入者を退治する完全武装の警備員！

警備員たち、ピコピコハンマーを構える。

警備員　動いているものを見つけ次第、ぶったたきます。名づけて、

みんな　「だるまさんがころんだ」作戦！

警備員　さらにこの部屋の前のろうかには、侵入者を発見すると動き出すワナがしかけられています。

お嬢様　ワナ？

警備員　ろうかに一步でも入ったとたん、大きな岩が落ちてきます。

警備員たち、バランスボールを投げる。

なにかがこわれるすごい音がする。

お嬢様　ちよっと！

お嬢様　なんか壊してない！？

警備員　これでヤツらはペしゃんこです。名づけて、

みんな　「ちよっぴり危ないボール遊び」大作戦！

警官　完ぺきです、警部。

警部　さあ、準備にかかるぞ！

☆真夜中・チッチ・ビルディングの1階

警備員たちがなわとびでセンサーをしかけている。

怪盗　さあ、みんな、行くわよ。

みんな　おーっ！

お助け　そこに赤外線センサーがあるわ、気をつけて！

みんな、センサーの合間をぬって通り抜けていく。

お助け　今度は、すごい数の警備員よ。

お助け　私たちが気を引くから、そのすきに行つて。

怪盗 わかった。

お助け ポチ。

ポチ はい。

お助けメンバー えーい！

お助けメンバー、ポチを警備員の方に放り投げる。

ポチ えーっ！？

警備員たち いたぞ！

警備員たち、ポチをボコボコ殴る。

ポチ 助けてーっ！

必死で逃げていくポチ。

お助け

さあ、最後の廊下よ！

怪盗 ここを抜けたら最上階ね。

怪盗 きっと何かワナがあるはず…。

警備員たち、ボールをかまえる。

警備員たち ちよっぴり危ないボール遊び大作戦！

警備員 さあ、一歩でもふみこんだらペシヤンコよ。

お助け こんな時は…

お助けメンバー ポチ！

ポチ はーい…。

傷だらけになったポチ、追いついてくる。

ポチ すいません、遅くなりました…あれ？

警備員 今だ！

ポチ ぎゃー！ またーっ！？

警備員たち、ボールを転がしてポチを追いかけていく。

ポチ 助けてー！

ポチ、ボールといっしょに転がっていく。

怪盗、お助けメンバーたち、ポチの転がっていった方を見ながら、手を合わせ

る。

怪盗 危ないところだったわ…。

お助け ありがとう、ポチ。

怪盗 さあ、行きましょう。

みんなは、最上階の扉の前に到着する。

☆同時刻・最上階のなんだかエラそうな部屋の扉の前

エラそうな扉を見上げる怪盗・お助けたち。

怪盗 ここにお宝があるわけね。

怪盗 みんな、覚悟はいい？

みんな、うなずく。

怪盗たちは、扉に手を当てると、押し開く。

お嬢様たち ホーッホッホッホッ！

そこには、宝物の箱を持ったお嬢様たちが待っている。

お嬢様 待っていたわ。怪盗キャッツ・テイル。

同時に、警官たちが出てきて、怪盗たちを取り囲む。

警部 ○○（怪盗1の名前）。

怪盗1 ○○（警部の名前）。

警部 まさかみんなが怪盗キャッツ・テイルだったなんて。

お嬢様 あら知り合いだっただのね。

お嬢様 まあいいわ。あんたたち、さっさと逮捕しちゃってちょうだい。

警官たち、怪盗・お助けたちを捕まえる。

怪盗1 ごめんなさい。

警部 ……。

お嬢様 ご苦労様。

お嬢様 それじゃあたくしたちは、これを持って出発するわ。

お嬢様たち、宝物を持って行こうとする。

怪盗 おねがい、待って。
お嬢様 まだなにかあるの。
怪盗 それを返して。
警備員 返して？
怪盗 それは私たちの大切なものの。
警備員 私たちの？
お嬢様 なにいつてるのよ。これはあたくしたちの物よ。
怪盗 おねがい、〇〇（警部の名前）。その箱を開けて。
怪盗 それをもっていくのは、中を見てからでも大丈夫でしょ。
おねがい。
お助け おねがい、〇〇（警部の名前）！
怪盗1 みんな…。
警部 お嬢様、箱の中を見せてもらえますか。
お嬢様 なにを言ってるのよ。こんなドロボウのことを聞くつもりなの。
怪盗1 おねがい、〇〇（警部の名前）。中を見て。
お嬢様 いい加減にきなさい！
警部 取り押さえる。

警官たち、マダム・チッチを後ろに引きずっていく。

お嬢様 ダメよ。その箱の中を見ちゃ絶対にダメ！やめてちょうだい、刑事さん！

警部、箱を開けると、中から古いボールが出てくる。

警備員 ボール？
警備員 なんでこれがお宝なの？
警備員 でもこのボール、どこかで見たことある。
警備員 これ、ひよっとして、
警部 あのときのボールだ。
怪盗1 いっしょに遊んだよね。みんなで。私は遠くに行っちゃうけど、これは私たちが友達だったあかしだから。これは私たちの、一番大切な宝物だから。
警部 じゃあ、お店で言ってた、あげたいものって。
怪盗1 このボール。
怪盗1 そのために、みんなで盗みに来たんだよ。
怪盗1 ずっと忘れなかったよ、いっしょに遊んだ、あのころのこと。私はドロボウで、
お助け あなたは刑事だけど、ずっと友達だと思ってたから。
怪盗1 （他のみんなを見回して）みんなのことも。
警官 だから、ごめんなさい。
警官 でも、なんでこのボールがここに？

お嬢様たち ホーッホッホッホッ!

お嬢様たち、警部の手からボールを取り上げる。

お嬢様 どうとう知られてしまったようね。

お嬢様 今こそ教えてあげるわ。このボールと、そしてあたくしたちの秘密を。

お嬢様 実はあたくしたちは、

ポチ 待てーっ!

大砲を持って飛び込んできたポチ、お嬢様たちに向かって大砲を撃つ。

お嬢様 キャーッ!

お嬢様たち、吹っ飛んでいく。

怪盗・お助けたち。ポチ!?

警部・警官・警備員たち お嬢様!

ポチ みなさん、ご無事でしたか!? 助けに来ました!

みんな バカーッ!

ポチ え?

お助け なにしてんのよ。

お助け ボールごと吹き飛んじやったじゃない。

ポチ ボール? ボールがどうかしたんですか?

みんな バカーッ!

怪盗 あっち行ってなさい!

ポチ ぎゃーっ!

ポチ、追い出される。

怪盗1 なくなっちゃった。私たちの思い出が。やっと見つけたのに。

警部 大丈夫だよ。

怪盗1 え?

警部 ちゃんと覚えてるから。

警官 そうだよ。忘れてないよ。私たちも。

警備員 みんなと遊んだこと。

警備員 ずっと友達だって思ってたから。

怪盗1 ……。

警部 ボールはなくなっちゃったけど、ちゃんと覚えてるから。ずっと忘れないから。

怪盗 ねえ、遊ぼう!

怪盗 ○○(怪盗1の名前)が行っちゃう前に、みんなでもう一回遊ぼう!

みんな うん！

みんな、なわとびやピコピコハンマー、大きなボールで遊び始める。

怪盗1 じゃあ、行くね。

警部 向こうに行っても、また泥棒続けるの？

怪盗1 分からない。

警部 続けなよ。そしたらまた、捕まえに行くからさ。

怪盗1 ありがとう。

怪盗1、遊んでいるみんなに、元気に呼びかける。

怪盗1 バイバイ、みんな。

みんな バイバイ！

怪盗1、去っていく。

おしまい